

# 相模線沿線

# ハイキングコース

全長約 9 km



## 11 宝蔵寺



芹沢の西南方向の谷戸にある集落が行谷です。昔から静かな村でしたが、昭和60年4月、この地の一面に文教大学湘南校舎が開校したことに伴い、周辺の道路整備などが行われ、様相が変わりました。この集落のほぼ中心に位置しているのが宝蔵寺です。

## 10 金山神社



行谷（なめがや）の氏神様である金山神社には、参道入り口に五基の庚申塔が並んでいます。この中の承応4年（1655年）銘の塔は、庚申塔に青面金剛像を彫るごく初期のもので、歴史上貴重なものとして昭和61年に市重要文化財に指定されています。

庚申塔は、庚申信仰に基づいて江戸時代に盛んにつくられるようになったもので、人の延命招福を願ったものです。

## 12 庚申塔



## 13 熊澤酒造



明治5年創業。130年の歴史を持つ湘南唯一の酒蔵。伝統的な清酒「曙光」、「湘南ビール」、「天青」を醸造しています。敷地内には洋食・和食・パンのお店があります。

## 8 蓮妙寺



江戸時代にこの地の領主戸田氏の庇護を受けたことを縁に、明治2年に村人が戸田勝信の墓碑を建てました。境内には鬼子母神堂や弁天堂があります。

## 9 下馬落観音堂



このお堂は光照山普門寺といえます。馬に乗ったまま前を通ると落馬すると伝えられ、本尊は下馬落観音といえます。この観音様は秘伝で、33年に一度しか拝むことができません。

## 10 金山神社

## 11 宝蔵寺

## 12 庚申塔

## 13 熊澤酒造

## 14 浄見寺 (大岡一族墓所)

## 15 勤重郎堀遺跡と道祖神

## 16 民俗資料館 (旧和田家)

## 17 建彦神社

## 18 腰掛神社

## 19 蓮妙寺

## 20 下馬落観音堂

## 21 宝蔵寺

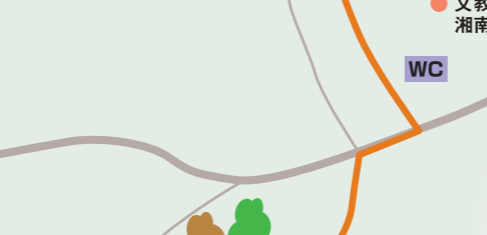
## 22 金山神社

## 23 庚申塔

## 24 湘南公園墓地

## 25 北陽中学校

## 26 文教大学湘南校舎



## 7 腰掛神社



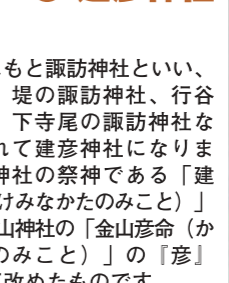
芹沢の鎮守である腰掛神社の社名は、その拝殿わきにある石に日本武命（やまとたけるのみこと）が腰掛けたという伝説に由来しています。

## 6 県立茅ヶ崎里山公園



「里山」は、昔の人たちが生活するために林を利用した結果、様々な生き物が生息するようになった場所であり、人と自然との共生を語る上で注目を集めています。まだ全面開園はしていませんが、多くの市民の方に親しまれています。

## 5 建彦神社



建彦神社はもと諏訪神社といい、明治末期に、堤の諏訪神社、行谷の金山神社、下寺尾の諏訪神社などが合祀されて建彦神社になりました。諏訪神社の祭神である「建御名方命（たけみなかたのみこと）」の「建」と金山神社の「金山彦命（かなやまひこのみこと）」の「彦」の名をとって改めたものです。

## 4 民俗資料館 (旧和田家)



江戸時代に萩園村役場人を勤めた和田家の住宅として五代にわたって使用されたものです。江戸時代の大型民家の姿をよく残しています。

## 3 浄見寺 (大岡一族墓所)



大岡越前守忠相とその一族の墓所として知られていますが、他にも「お葉つきイチョウ」をはじめとする寺林や弁財天坐像など、見どころは豊富です。

## 2 勤重郎堀遺跡と道祖神



香川への用水路であった勤重郎堀は、この脇の駒寄川に堰を設けて用水を取り入れていました。水路は、今は埋められて道路になっています。この天明6年銘（1786年）の道祖神には、「庚申」の文字も刻まれているので、道祖神と庚申塔の両方に数えられています。

## 1 香川諏訪神社



かつては上諏訪神社・下諏訪神社の二社がありましたが、明治8年（1875年）に下社に合祀して今日に至っています。長野の諏訪神社を分祀したものといわれ、合祀前は上社・下社が一年交代で祭をしていました。

